



大平台だより

Oohiradai Newspaper



マリーゴールド・インパチエンスを植えました



***みんなできれいにしたプール* いっしょに働くと気持ちいい!**

米沢小学校のプールは、昭和44（1969）年に竣工しました。今年で54年目、子どもたちのおじいさん、おばあさん方が小学生の頃には、もうこのプールで水泳の学習をしていたこととなります。長い間、子どもたちの暑い夏を応援してくれているのです。きっと、これまで、何度も、プールのペンキを塗り、機械やプールサイドの修理もしながら、大切に使用してきたのでしょう。5月の終わりに、水泳学習に向けて、全校でプール清掃を行いました。子どもたちは、それはもう張り切って掃除をしていました。

今、日本の「子どもたちが自分たちの使う校舎を自分たちの手できれいに掃除をする」という学習が、外国の国々から高い評価を受け、自国の教育活動に取り入れられているそうです。私たちは、学校に掃除の時間があることが当たり前と思っていました。しかし、世界が注目するほどであることを今はとても誇らしく思います。時代は変わっても、一生懸命に掃除をする子どもたち、先生方の姿は、ともに働く喜びにあふれているようにも思います。その姿は、「これから水泳学習、よろしく」とプールに語っているようでもあり、「きれいにして、みんなで水泳学習がんばるぞ」と言っているようにも見えました。掃除で目一杯体を動かし、みんなで一緒に筋肉痛になるのも、いいものです。ともに汗する…これが学校教育のいいところであると実感しました。

「大丈夫！ただ経験がないだけ！やってみよう！」



6月16日にプール開きの式を行い、各学年の代表が水泳学習のめあてを発表しました（玄関前の掲示板に一人一人のめあてが掲示してあります）。校長が、「プールが好きの人」と聞くとほとんどの子が挙手しました。「苦手だなと思う人」と聞くと、数名が自信なさそうに手を挙げました。苦手と思っている子は、自分が苦手であることを恥ずかしく思っているかもしれませんが、実は、そのように考えることは、全くなく、ただ、「経験がないだけ」とであると話しました。下手でも何でも「やってみよう！」ことが大切だし、尊いことだとも伝えました。そして、1年生から6年生まで、学年ごとに、「水泳学習、やってみよう！」とみんなで、声を合わせて言ってみました。2年、3年…だんだん声が大きくなって、6年生からは、とてもやる気のある「やってみよう！」の声が聞かれました。けがなく、みんなで楽しい水泳学習ができるといいと思います。お時間があれば、プールへお越しいただき、子どもたちの姿をご覧ください。お待ちしております。